

令和5年度シラバス「郷土の音楽」

教科	芸術科 (郷土の音楽)	単位数	2単位	学年・組	3年1~4組 自由選択
使用教科書	五線譜で弾く沖縄三線教室 (千野出版)				
副教材等	手習い 沖縄の三線(目取真永一), 島唄(DOREMI), その他				

1. 学習の目標

- ①音楽活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。
- ②邦楽を始め、多様な音楽に対し柔軟に理解し、幅広く鑑賞する態度を養う。

2. 学習の計画

学期	月	配当時間	教材	指導目標	備考
一学期	4	2	オリエンテーション	郷土の音楽の授業内容について	基礎資料アンケート実施
		4	歌唱(斉唱) ・涙そうそう ・さとうきび畑 ・島唄 ・安波節	リズム, 音程を正しく歌えるようにする 郷土の音楽が沖縄の音楽としてさまざまなジャンルで展開されていることを理解する	積極的に授業に取り組む 【関心・意欲・態度】
	5	4	三線基礎 ・容易な練習曲 ・安里屋ユンタ ・安波節 ・三線指導ビデオ	楽器の特徴・名称等を理解する 古典音楽と民謡の歴史を理解する 基本的な奏法を身につける 表現を工夫した演奏を行う	音楽史的観点を持たせる 実技テスト 【音楽表現の技能】
		2	音楽理論 ・工工四 ・タブラチュア	文字譜と図形譜の2種類の記譜法を理解する	三線用TAB譜を活用 【関心・意欲・態度】
	6	8	三線演習 ・遊びシヨウガネー ・海ぬちんぼーらー ・海の声 ほか	演奏できる楽曲を増やす 工工四, TAB譜を読譜し自力で楽曲演奏を習得することができる	課題への積極的な取り組み 実技テスト実施 【音楽表現の技能】
		4	鑑賞 ・組踊り	音楽を構成する様々な要素を感じ取り, 音楽の美しさを感じる 楽曲の歴史的背景を理解する	DVD鑑賞 感想文提出 筆記テスト 【鑑賞の能力】
	二学期	9	12	三線演習 ・西武門節 ・ていんさぐぬ花 ・唐船ドーイ	演奏できる楽曲を増やす 民謡を演奏する テンポの速い楽曲の演奏ができるようになる
10			組踊鑑賞教室	「国立劇場おきなわ」にて鑑賞教室実施	
4		訪問演奏に向けて ・既習曲の仕上げ	訪問演奏を見据えて選曲し, 仲間で話し合いながらグループ分けをする	話し合い活動 グループ練習 演奏会の計画立案 【音楽表現の創意工夫】 【音楽表現の技能】 【関心・意欲・態度】	

	11 12	10	訪問演奏(老人福祉施設)に向けて ・既習曲の仕上げ	訪問演奏に向けて楽曲を仕上げしていく 実技テストの実施 演奏会・リハーサルの企画運営を行う	実技テスト実施 【音楽表現の創意工夫】 【音楽表現の技能】
三学期	1 2	10	訪問演奏(老人福祉施設)	仲間と協力して演奏会を成功させる ステージマナーや年長者に対する礼儀作法などに気を配り、充実した演奏を行う	実技テスト実施 【鑑賞の能力】 【音楽表現の創意工夫】 【関心・意欲・態度】
	3		音楽映画の鑑賞 ・日本の伝統芸能編	日本各地の伝統音楽の表現の多様性を学ぶ。 郷土の音楽の集合が日本の伝統音楽であることを理解し、国と郷土の文化を尊重する態度を学ぶ	DVD鑑賞(鑑賞の能力) 感想文提出 【鑑賞の能力】

3. 評価規準・評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

音楽への関心・意欲・態度	芸術的な感受や表現の工夫	創造的な表現の工夫	鑑賞の能力
音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
授業態度・学習の取り組み状況 (観察) 学習プリント(ワークシート)	学習の取り組み状況 (観察) 実技課題への取り組み (演奏)	実技課題進捗状況 (演奏) 学習の取り組み状況 (観察) ソルフェージュ(演奏)	ミュージックノート「鑑賞の記録」 学習プリント(ワークシート) 学習の取り組み状況 (観察)

学習の取り組み状況(観察・聴取)、実技課題進捗状況、学習プリント、ペーパーテスト、実技テスト、授業態度を総合的に判断して決定します。

4. 担当者より

- ・「郷土の音楽」は、学校設定科目です。つまり、本校独自の科目です。沖縄の音楽を平易に様々な角度から学習していきます。
- ・1・2年生時に書道や美術を履修した生徒も選択できます。そのため「音楽I」で学習する内容から、音楽の諸要素についての学習も適宜指導します。
- ・本校では、40丁の三線が用意された学習環境があります。1人に1丁の三線が用意されています。郷土の音楽に親しむ目的で簡易な楽曲による歌三線の学習をします。
- ・二学期に国立劇場沖縄での組踊鑑賞の実施及び、三学期には地域の諸施設での訪問演奏を行います。
- ・古典・民謡のほか現在の沖縄の音楽環境において、郷土の音楽がどのような状況にあるのかについても考察していきます。